ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.

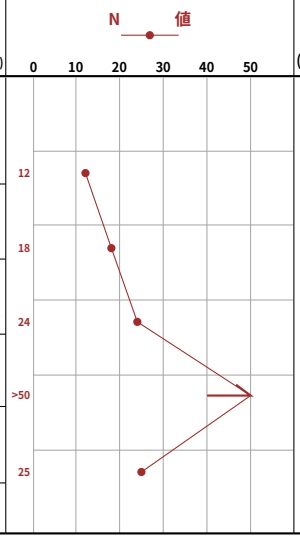
シートNO.

ボーリング名	BV-5	調査位置				北　緯	36 ° 20 ' 30.5273 "
発注機関	栃木県足利土木事務所			調査期間	2005-09-21 ～ 2005-09-21	東　経	139 ° 26 ' 22.4824 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	50.18 m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 7.00 °	使用機種	試錐機		ハンマー落下用具	
総掘進長	5.45 m								エンジン		ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1	48.38	1.80	1.80		礫混じり粘性土 (C-G)	黒褐			表土。 植物片、チャート角礫を混入する。礫径はφ5mm～2cm程度。 基質は有機質である。 含水低く、締まりゆるい。		
2	47.23	1.15	2.95		粘土混じり礫 (G-C)	淡褐灰			チャート角礫を主体とする、崖錐堆積物。 褐色粘土を挟在するが、有機質土も混入する。 礫径はφ1～5cmで、岩片は堅硬かつ比較的新鮮。 基質の含水は低く、親指でへこむ程度の硬さ。		
3	44.73	2.50	5.45		礫混じり粘性土 (C-G)	褐			崖錐堆積物。 チャート角礫を混入する。礫径はφ1～3cmだが、3.8～4.0m間はチャート転石があり、片状コアを呈する。 基質粘土の含水低く、親指でへこむ程度の硬さ。 4.55m以深、礫少なくやや硬質な粘土が分布する。		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	3	5	4	12／30	12
1.45					
2.15	5	4	9	18／30	18
2.45					
3.15	8	8	8	24／30	24
3.45					
4.15	10	20	20／7	50／27	>50
4.42					
5.15	7	11	7	25／30	25
5.45					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						09/21